

2025年 粳水分の状況

高温の影響により、例年より出穂が早まっています。気象庁は今後も高温になると予報しており、登熟は早く進み、収穫期の前進が予想されます。高温時には玄米の成熟よりも帯緑色粳の減少が遅れることがあるため、刈り遅れないよう粳水分を確認し、25%になったら収穫を開始しましょう。

9月11日(出穂後31日)現在の状況

- ・出穂期～測定前日までの積算気温は893℃です。粳水分は26.6%です。
- ・玄米は青未熟粒がやや多いものの登熟は進んでおり、収穫開始目前です。
- ・ほ場を観察し、倒伏や登熟ムラの大きい箇所は刈り分けを計画する等、収穫の準備を行いましょう。

粳水分測定結果(玉井試験場内ほ場)

移植期・品種	出穂期		測定日			
			9月4日	9月8日	9月11日	9月16日
5月20日植 彩のかがやき	8月11日	出穂後日数(日)	24	28	31	
		出穂期～測定前日までの積算気温(℃)	699	806	893	
		粳水分(%)	31.2	28.1	26.6	
		帯緑粳割合(%)	84	67	43	

*(参考)早植栽培「彩のかがやき」の収穫適期の目安

登熟積算気温910～1110℃、帯緑粳割合 穂の下部、3割程度に青みが残っている頃



○5月20日植「彩のかがやき」、出穂後31日(9月11日)の玄米(篩目1.8mm)